

令和元年度 宮崎県立日南くろしお支援学校 学校関係者評価

4段階評価 「4…期待以上である」「3…ほぼ期待どおりである」「2…やや期待を下回る」「1…改善を要する」

評価項目	評価指標	学校の自己評価コメント	自己評価	R1保護者評価	学校関係者評価	学校関係者評価コメント
(1) 経学 営校	① 学校は、教育方針を保護者に分かりやすく伝えていますか。	○ 今年度も前年度同様、ホームページの定期的なブログ更新を推進するなど、教育活動の発信に取り組んだ。今後もPTA総会や参観日その他、機会を捉えて教育方針を分かりやすく伝えるよう努め、工夫していきたい。	2.8	3.1	3.1	○ 災害はいつ起こるかわからない。常に訓練は必要かと思う。すぐに避難できる体制づくりをしてほしい。どこの場所においても速やかに避難できる避難順路を考えてほしい。
(2) 教育指導及び 教育活動	① 児童生徒は学校に行くのを楽しみにしていると思いますか。	○ 多くの児童生徒は楽しく学校生活を送っていると思う。一部の不登校気味の児童生徒や不適応行動のある子どもたちの支援を充実させ、みんなが楽しく学校生活を送れるよう努めていきたい。	3.3	3.4	3.6	○ 参加した学校行事や病院における訪問教育学級の状況及び各種行事の先生方の取り組み姿勢がとてよいと感ずる。 ○ 職員の対応がよい。学校の経営方針が浸透し、さらに開かれた学校になることを希望する。 ○ 児童生徒が学校に行くのを楽しみにしているという評価点が高いのはとてもよいことである。他のいろいろな面に波及効果がある。
	② 学校と家庭が連携して効果的な指導をしていますか。	○ 学校と家庭と連携した効果的な指導については、ある程度達成できたのではないかと考える。今後も校内支援体制整備を充実させ、家庭支援に対応できるようにしていきたい。	2.9	3.1	3	
	③ 保護者の意見を反映させて、児童生徒の実態に応じた個別の指導計画を作成し、指導に活用していますか。	○ 今年度も児童生徒や保護者のニーズを生かした指導に努めてきた。今後は個別的教育支援計画と個別の指導計画の改善及び充実についてさらに検証を重ね、活用できるものにしていきたい。	2.9	3.2	3	
	④ 児童生徒の各課題に応じた、分かりやすい授業や生きる力を育む指導を行っていますか。	○ 新学習指導要領を踏まえ、主体的かつ生きる力を育む指導や授業に取り組んできたが、さらに教師の力量向上に努め、授業力を高めたい。	2.9	3.2	3	
	⑤ 学習効果を高めるための教材教具の工夫や改善をしていますか。	○ 児童生徒の実態に応じた、興味関心をもちながら取り組むことができる教材教具の工夫・開発に引き続き取り組んでいきたい。	2.8	3.1	3.2	
	⑥ 個々の実態に応じた進路指導及び職業理解のための情報提供、進路相談が実施できていますか。	○ 早い時期からのキャリア教育と小中高の連携をより充実させていく必要がある。進路に関する情報提供、進路相談等もさらに積極的に実施していきたい。	2.8	3	3.5	
(3) 施設・設備・環境	① 施設や設備（遊具）の整備や清掃が行き届き、安全管理が十分なされていますか。	○ 施設は随所に老朽化が目立つ状況にあり、抜本的な対応が必要な箇所もあるが、事務部や関係部署と連携しながら修繕に努めている。今後も児童生徒に関係する遊具や施設の安全管理を徹底していきたい。	2.7	2.9	3	○ 様々なイベントに参加させていただく中で、その時その時の児童生徒の表情を見ると本当に学校に行きたい、行ってよかったと思えるような笑顔があふれていると感じている。大切なのは卒業した後で、その時まで何に身に付けさせるのか、また卒業後の支援の検討も定期的に実施できる環境が大切なのではないかと考える。
	② 災害や不審者への対応と安全指導、緊急時の対応が整備されていますか。	○ 今年度も計画どおり防災訓練を実施したが課題が残る。屋上へ避難用テントやシートを移すなど、より現実的な対応ができるようにしていきたい。今後も備蓄品の充実、保管場所の再検討を行うとともに防災意識の高揚に努めたい。	2.7	3	3.5	
(4) 説明責任	① 保護者に学校や学部（学級）の情報を伝えることができているか。	○ 必要な情報については随時防災メール等で伝達した。連絡帳や学級通信等も活用し、今後も積極的に保護者へ情報伝達を行いたい。	3	3	3.3	○ 今後ますます家庭との連携が必要になってくると思う。特に生活面の支援は卒業後の自立した生活に向けても大事な部分と考える。その辺りを含めて、親元から離れた生活の体験や生活リズムの継続性などを目的とした活動を検討されるのもよいかと思う。
	② 地域・関係機関に学校の取組や必要な情報を伝えることができているか。	○ オープンスクールの開催や風田くろしお販売祭の実施は地域への発信の貴重な機会となった。次年度も地域との協働を模索しながら、教育活動に取り組むたい。	2.9	3	3.1	
(5) その他	① PTA活動は計画的で、PTAに対する保護者の関心が高く協力的ですか。	○ 各部の事業は内容も充実し、活発なPTA活動ができていたのではないかと考える。今後も学校と保護者が連携しながら、活動内容の改善・工夫を行い、みんなが積極的に参加できるようにしていきたい。	2.8	2.8	3	